

特別企画

大学・外国人・民間・行政と連携し、 地域活性化の促進に取り組むクラブ

いすずウキウキクラブ 〈三重県伊勢市〉

総合型クラブには、地域コミュニティの核として、地域スポーツ環境の充実やスポーツを通じた地域課題解決などの取り組みが期待されています。

そこで今回は、大学・外国人・民間・行政と連携し、地域活性化の促進に取り組むクラブを紹介しします。

1 クラブ概要

いすずウキウキクラブは、伊勢神宮・内宮周辺の五十鈴中学校区を活動拠点として、平成16年3月13日に伊勢市で最初の総合型地域スポーツクラブとして設立されました。当クラブの目的は、「五十鈴中学校区における地域住民の健全な心身の保持・増進とコミュニティづくりに寄与すること」です。

年間約30種類の教室を実施

特に、地域のコミュニティづくりに力を入れており、より多くの地域住民の方に参加していただけるよう、会員・会員外を問わず気軽に参加できる教室を年間約30種類、850回ほど予定しています。

大人は年会費8,000円、子どもは年会費5,000円のみで、すべての教室に自由に参加できるように設定しています。

会員数は、令和元年度は541人でしたが、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度が419人と大きく減少、令和3年度は474人まで回復しました。

地域小学生の約4割が会員(コロナ禍前)

当クラブは、子どもの会員が多く、コロナ前には地域の小学生の4割が加入していました。また、高齢者の会員も多く、仲間づくり、生きがいに効果が出ていると考えています。

令和2年度に生涯スポーツ優良団体表彰(文部科学大臣表彰)を受賞させていただき、さらに地域貢献に努めていきたいと考えています。

2

大学・外国人・民間・行政との連携で地域貢献

当クラブは、地域のコミュニティづくりに寄与することが、最も重要と考えています。地域コミュニティが強化されることで、社会が抱える多くの問題が解決されると考えていることから、より多くの地域住民のみなさんが、当クラブの参加者として、あるいはスタッフ・指導者として、関わっていただくことを期待しています。

大学との連携を契機に会員増

設立からしばらくの間は会員数が伸び悩んでいましたが、大学との連携による教室を始めると、子どもだけでなく保護者の皆さんが興味を持ち始め、活動状況を見学され、口コミで広がっていきようになり、会員数の増加につながりました。

様々な連携を図ることは、クラブの魅力を高めるとともに、人材育成・次世代育成にもつながっていくと考えています。

(1) 地元の皇學館大学との連携

当クラブで、最も重視する連携として、地元の大学である皇學館大学との連携があります。きっかけは、15年ほど前、町の「子ども会」の行事で、同大学のレクリエーション部によるイベントが行われていました。そこでは、子どもにとって「最も年齢の近い大人」である大学生の皆さんが、子どもたちと一緒に走り回ったり、私たちが考えつかない遊びで楽しんでいる光景を目の当たりにしました。

それは、当クラブの活動には無い新鮮なもので、子どもたちの目が生き生きしていることに気づいたのです。その後、同大学のレクリエーション部に協力を依頼し、大学との様々な連携がスタートするきっかけとなりました。

① 大学生との「ふれあい教室」を開催

当クラブでは、同大学レクリエーション部により、「お兄さんお姉さんとのふれあい教室」として、鬼ごっこやオリジナルのゲームなど「遊び」を中心に運動が苦手な子どもでも楽しめる教室を開催していただいております。12月にはクリスマス会も企画してくれています。

部員の中には教員を目指す学生が多く、子どもと接することができる貴重な経験の場になっています。

また、クラブの会員だった児童が、この教室に参加したことがきっかけで同大学に入学。レクリエーション部に入部して、今では部員として子どもたちを指導する立場となった学生もいます。



皇學館大学レクリエーション部「お兄さんお姉さんとのふれあい教室」の様子



皇學館大学レクリエーション部
「お兄さんお姉さんとのふれあい教室」
クリスマス会の様子(令和元年度実施)

②同大学教育学部の授業への協力 クラブスタッフが講師に

同大学教育学部の授業において、「総合型地域スポーツクラブの運営と課題」をテーマに、当クラブスタッフがゲスト講師として毎年授業を行っています。

学生の皆さんに地域スポーツの現状と課題を伝え、その上で総合型地域スポーツクラブの意義と必要性を理解していただくことで、将来、指導者やスタッフとして活躍していただくきっかけとなればと考えています。

③大学でも各スポーツ教室を開催 大学・市・8つの総合型クラブが連携

当初は、当クラブ会員の子どもたちが同大学に行き、陸上部の学生の皆さんに指導をしていただく教室を試験的に行っていました。

その後、伊勢市教育委員会事務局スポーツ課と同大学の連携により、市内にある8つの総合型地域スポーツクラブの子どもに対象を広げ、陸上のみならず、サッカー、バドミントン、柔道、よさこいなど多くの部活動の学生による教室を大学内で開催していただいています。

皇學館大学 学生・教授の声



皇學館大学レクリエーション部 別所香奈さん

私は、教育学部の学生で、保育士を目指しています。月2回の教室は、私にとって多くの子どもたちと関われる大切な時間です。教室の内容は、参加する子ども的人数や年齢に応じて、また、子どもたちの体力を見極め、どの遊びにすると楽しんでもらえるかを部員のみinnで相談し決定しています。

様々な子どもと関わることで、一人一人の性格や考え方を知ることができ、将来に役立つ知識を得ることができます。これからも子どもたちに楽しんでもらえるような遊びを考えていきたいと思っています。



皇學館大学レクリエーション部 仲田衣里さん

私は、小学生の頃にいすずウキウキクラブの会員でした。毎週土曜日に行われる体育館での活動やものづくり教室、キャンプなどに参加していました。

その中でも私が一番好きだった活動は、月2回ある皇學館大学のレクリエーション部のお兄さんお姉さんと一緒に遊ぶ時間でした。いつも笑顔で優しく、時にはちゃんと注意してくれたり、さまざまなことを教えてくれたりと、頼りになるお兄さんお姉さんの姿を見て、私もいつかこんな大人になりたいなと思うようになりました。

そして、もし皇學館大学に入学したら、レクリエーション部に入部したいと小学生の頃から決めていました。

入部した今でも、小学生の皆さんにとって、優しく頼りになるお姉さんになることが目標です！



皇學館大学教育学部 中村先生のコメント

従来は学校が中心であった「スポーツの場」ですが、現在では多様な場が形成されています。

特に、「総合型地域スポーツクラブ」は、地域社会のさまざまな年代の人たちにとって、よりいっそう重要な「スポーツの場」となっていくと思います。体育・スポーツの指導者を目指す本学教育学部の学生にとって、「総合型地域スポーツクラブ」について、よりリアルに、また具体的にその活動の実態や課題に関して学修することは、今後の指導者としての資質を向上させる上で、大切なことだと思います。

こうした中で、「いすずウキウキクラブ」の活動内容や運営について学ぶことは、将来の体育・スポーツの指導者としての学生にとって重要な機会となっています。

(2)外国人の皆さんとの連携

多様な教室を開催するためには、多く人材が必要となります。そのため、普段の生活において、様々な方とコミュニケーションを図りながら、指導者となりえる方に声掛けをしています。知人が外国人の方とスポーツ活動を行っているという聞き、是非、子どもたちと遊んでほしいと依頼し実現しました。

ALT(外国語指導助手)をはじめ、市内で働いている方や生活している外国人の皆さんに、遊びを中心とした教室を開催していただいています。

外国人の皆さんが英語と日本語を交え、子どもたちと接していただくことで、国際社会への理解や英語の習得につながればと考えています。



「外国人の皆さんとのふれあい教室」の様子



「外国人の皆さんとのふれあい教室」ハロウインの様子

(3)民間との連携

当クラブは、民間スポーツクラブやスポーツ施設の指定管理者などと連携しています。

なかでも、「まはろ骨盤整骨院」とは、整骨院が伊勢市内に進出してから連携を進めています。同整骨院には、社会貢献として当クラブの教室を開催していただいております。当クラブとしては、経費をかけずに魅力ある教室を開催できるというメリットがあります。一方で同整骨院は、参加者に効果を体感していただくことで顧客につながることを期待しており、お互いにウィンウィンの連携が図られています。



まはろ骨盤整骨院による
「からだ改善クリニック教室」の様子

(4)行政との連携

伊勢市教育委員会事務局スポーツ課では、総合型地域スポーツクラブを重点事業と位置づけ、市内8つの総合型地域スポーツクラブとスポーツ課による定期的な意見交換会を行いながら、皇學館大学でのスポーツ教室の開催をはじめ、クラブ間のネットワークづくりや会員促進に向けた様々な支援をしていただいています。

3 連携により交流促進→地域コミュニティの強化に

様々な連携を図ることで、他ではあまり行われていない魅力ある教室の開催が実現できます。また、参加者やスタッフ・指導者として多くの方が当クラブに参加していただくことで、様々な交流が図られるようになります。

その結果、子どもにとっては、体力の向上だけでなく、健全育成、いじめの未然防止、見守り体制の強化などにつながります。また、高齢者にとっては、体力の維持、健康づくりのほか、仲間づくり、生きがいがづくりなど多くの効果が期待でき、最終的には地域コミュニティの強化につながると考えています。さらに、人材育成や次世代育成にも期待できると考えています。

将来を見据え、新たな財源確保とスタッフの育成を

様々な連携を図ることは、決して容易ではありません。企画の立案や連携先との交渉、運営体制の確立や財源確保などが必要となります。

当クラブでは、安い会費でより多くの方に様々な教室に参加していただきたいと考えていることから、将来を見据えた新たな財源の確保や企画立案できるスタッフの育成を進めていかなければなりません。

新たな連携を推進 中学部活動の受け皿も視野

クラブとして最も重視する「地域コミュニティの強化」を図っていくため、より多くの地域住民の皆さんが参加していただける、魅力ある教室を常に考え実施していきたいと思っております。そのためにも新たな連携を積極的に進め、魅力の創出を図っていきたくと考えています。

また、現在の大きな話題として学校部活動の地域移行があります。中学校に入学するまでは、多くの子どもが当クラブで活動していることから、中学生以降になっても地域の子どもを引き続き見守ることは、地域にとって非常に大事なことと考えています。

当クラブの一部の指導者は中学校の部活動に協力していますが、今後中学校と連携し、当クラブが受け皿となれるよう、体制を整えていきたくと考えています。

(いすずウキウキクラブ 事務局長 東浦 久修)

クラブプロフィール

設立年月日 平成16年3月13日

所在地 三重県伊勢市楠部町乙572番地1

運営 会員数474名(令和4年3月現在)、予算規模439万5千円(令和4年度)

特徴

- ・会費が安い(大人最大8,000円/年、子ども最大5,000円/年)
- ・安い会費のみで多くの教室に自由に参加できます(大人向け、子ども向け各400教室以上予定)
- ・大学生が指導する教室(お兄さんお姉さんとのふれあい教室)
- ・外国人が指導する教室(外国人の皆さんとのふれあい教室)
- ・民間と連携した教室(整骨院、施設指定管理業者等)
- ・陸上など様々なレベルに応じた対応(育成団体のいすずUK陸上クラブは、全国優勝や入賞する選手を多く輩出)

連絡先 〒516-0014 三重県伊勢市楠部町乙572番地1

TEL 090-4869-7759

URL www.isuzuukiuki.com

E-Mail suzuran@amigo2.ne.jp

